

JAM熟練技能継承事業ニュース

発行：2014年12月11日
JAM熟練技能継承推進室

基本を学び指導に活かす

～ 大阪府で初めて教員対象の「実技研修」を実施 ～

大阪府では初めて、高等学校の教員を対象とした「刃具研削実技研修会」を、12月4日・5日の2日間にわたって、大阪府立西野田工科高等学校で実施しました。

これは岐阜県や埼玉県にて同様の研修会を実施して大変好評だったことから、大阪府立工業高等学校長会に働きかけて実現したもので、大阪府内の8校から12名（うち定時制2校3名、女性教員は2名）が参加しました。

指導者は高度熟練技能者の浅河壯太郎氏（現・北大阪高等職業技術専門校職員）で、初心者教員向けに「刃具研削の具体的な方法を覚えてもらい実習を効率的・効果的に進めるとともに、備品の有効活用を図る」という狙いで実施したものの。

講座の内容は、1日目に両頭研削盤の使い方や安全作業の講義と研削作業の実演の後、受講者がフラットバーを材料に各自実習を行ない、2日目は突っ切りバイトとねじ切りバイトの研削実習ならびに旋盤で試し切削までを行ないました。



＜研削の基本と安全作業についての講義＞



＜浅河さんの指導に見入る受講者の皆さん＞



＜手に熱を感じながらバイト研削を進める＞

参加者は皆さん「基本からしっかり学び、今後活かすことができる」と研修の効果を実感しており、アンケートでは今後の研修について「ドリル研削」と「汎用フライス盤」の希望が多く挙げられました。



＜研いだバイトの切れ味を旋盤で試す様子＞